

福島第一原子力発電所共用プールにおける ダストサンプリング業務の手順見直しについて

< 参 考 資 料 >
2 0 1 8 年 9 月 1 2 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

2018年8月20日～9月5日にかけて、3号機使用済燃料プールからの燃料取り出しに先立ち、共用プール内に保管している使用済燃料の配置変更作業を実施しました。燃料取扱い作業中は、放射性物質の管理のためにダストを測定する必要があったが、9月5日のダストを採取していないことが9月6日に判明しました。本件は、当社側から委託先に対し、9月5日分のダストを採取するよう正しく作業依頼が行われていなかったことが原因であったため、以下のような再発防止対策を実施することとしました。前日までの共用プール建屋オペフロ階のダスト濃度に変動がなく9月5日も同じ作業をしていること、エリアモニタを設置しており線量率を24時間監視していて9月5日の測定値においても有意な上昇がないこと、構内ダストモニタおよびモニタリングポストの線量率に有意な上昇がないことを確認しており、環境への影響はないものと考えています。

【ダストサンプリング業務の手順見直し】

